

お知らせします

平成17年度決算

財政課財政係 80824-73-1129

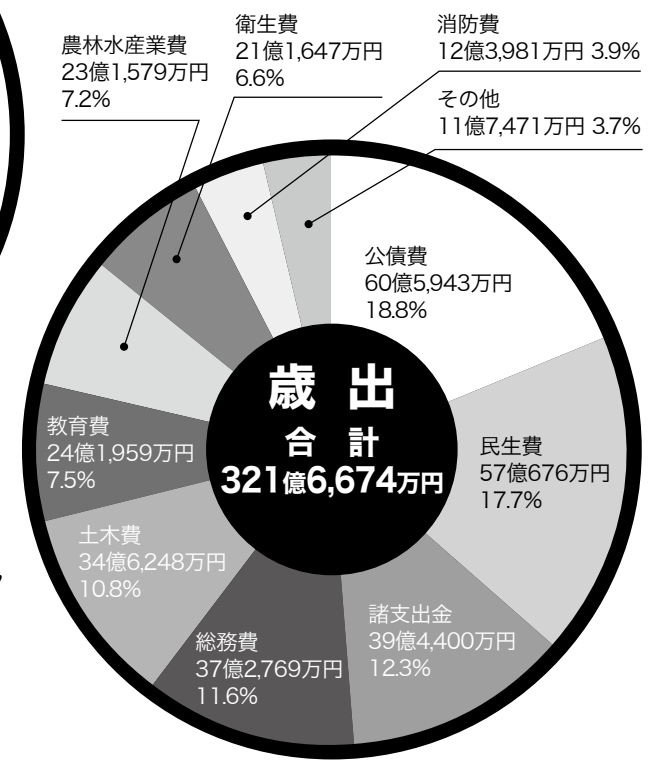
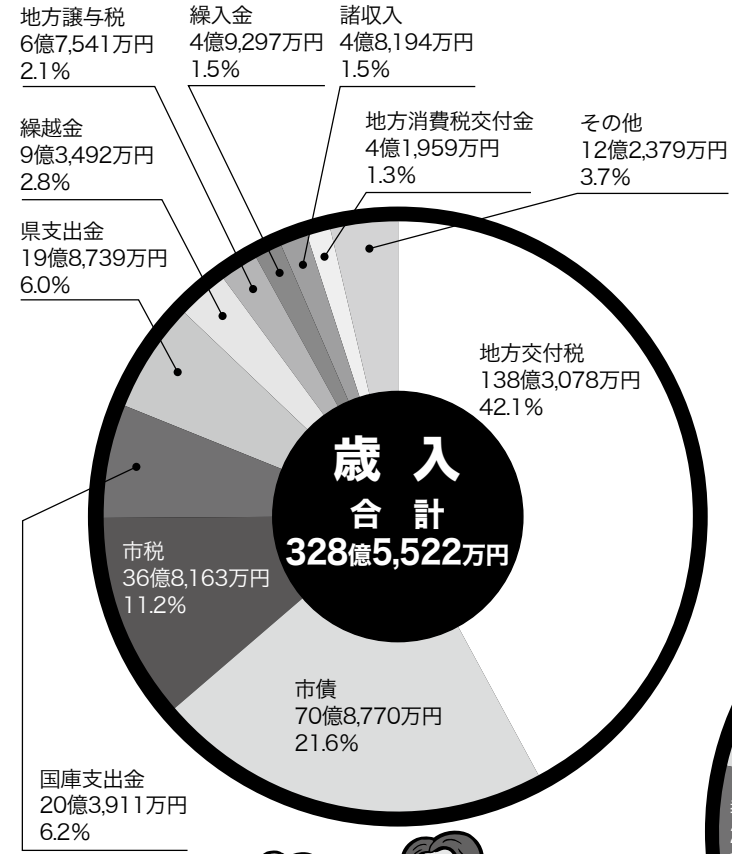
市では、市民の皆さんに市の財政状況を知ってもらい、市政に対する理解を深めてもらうため、毎年、財政状況を公表しています。市の財政は、皆さんに納めていただいた税金や国からの地方交付税、市債や国・県の支出金などで運営しています。平成17年度におけるわが国の景気は上昇傾向が続いていますが、庄原市においては、長引く景気低迷の影響を受け一層厳しい状況にあり、税収の落ち込みや地方交付税の減額などにより大幅な財源不足を生じ、厳しい財政運営が続いています。

豊かな住民生活実現のため平成17年度予算を執行しました。なお、金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。

一般会計

《歳入・歳出》

平成17年度一般会計の決算額は、歳入が328億5,522万円、歳出が321億6,674万円となりました。歳入と歳出の差引は6億8,448万円となり、翌年度への繰越財源1億1,576万円を控除した実質収支は、5億7,272万円の黒字となっています。この内2億9,000万円は、翌年度の財政調整基金(不測の事態に備える市の貯金)に積み立てています。



ます。

《市債・公債費》

市債とは、市の事業を行うために国などから長期間借り入れる資金のことです。17年度末の現在高は表のとおりで、毎年元金の償還、利子の支払いを計画的に行っています。市債の償還と一時借入金の利子を公債費と言い、一般会計で60億5,943万円、特別会計で7億7,467万円を支出しています。

会計歳入決算額の11.2%を占めており、国から交付される地方交付税とともに、重要な財源となっています。

市税の状況

区分	収入額	構成比
市民税	13億6,040万円	37.0%
固定資産税	19億8,336万円	53.9%
軽自動車税	1億827万円	2.9%
市たばこ税	2億1,527万円	5.8%
鉱産税	78万円	0.0%
入湯税	1,355万円	0.4%
合計	36億8,163万円	100.0%

市債の状況

	17年度借入金	17年度元金償還金	17年度末現在高
合計	80億3,710万円	55億2,456万円	711億6,944万円
一般会計	70億8,770万円	50億4,413万円	571億6,511万円
特別会計	9億4,940万円	4億8,043万円	140億433万円
住宅資金	0万円	2,600万円	1億2,005万円
歯科診療所	0万円	226万円	1,443万円
ダム対策	1億3,330万円	0万円	2億8,090万円
国民健康保険(直診勘定)	0万円	599万円	3,826万円
公共下水道事業	3億390万円	2億6,515万円	63億7,871万円
農業集落排水事業	4億8,670万円	5,302万円	34億8,196万円
浄化槽整備事業	700万円	0万円	2,250万円
簡易水道事業	1,850万円	1億1,050万円	30億9,611万円
工業団地造成事業	0万円	1,750万円	5億5,730万円
宅地造成事業	0万円	0万円	1,410万円

一般会計決算のポイント

歳入・歳出ともに、前年度に比べ大幅な減額となりました。

歳入は、長引く不況の影響を受け、法人市民税が5,545万円(▲16.1%)減となり、財政調整基金の取り崩しなどの繰入金で51億9,532万円(▲91.3%)減となりました。また、市債は公共事業の大幅な縮減をしたものの、地域振興基金の造成で33億2,500万円を借り入れたことにより8億8,920万円(14.3%)増となるなど、歳入総額で前年度に比べ46億9,562万円(▲12.5%)減の328億5,522万円となりました。

歳出は、合併により議員報酬、特別・一般職員給与等の人件費、事務事業費の抑制による物件費及び公共事業の縮減による投資的経費が減額となった一方で、合併に伴って県から一部事務移管されたことによる扶助費の増額および地域振興基金(35億円)の造成による諸支出金が増額したものがあり、歳出総額で前年度に比べ44億4,918万円(▲12.2%)減の321億6,674万円となりました。

一般会計実質収支の状況

歳入合計	328億5,522万円
歳出合計	321億6,674万円
歳入歳出差引額	(A) 6億8,848万円
翌年度に繰り越すべき財源	(B) 1億1,576万円
実質収支額	(A)-(B) 5億7,272万円
財政調整基金へ	2億9,000万円

普通会計でみる財政状況

財政力指数	0.272
経常収支比率	95.0%
実質公債費比率	20.7%

その他の会計

歳入合計	3億2,827万円
歳出合計	3億1,477万円
差引	1,350万円

※その他の会計:住宅資金、診療所、歯科診療所、国民健康保険(直診勘定)、浄化槽、工業団地、宅地造成



水道事業

収益的収支	
収入	7億2,528万円
支出	6億9,489万円
差引	3,039万円
資本的収支	
収入	5億469万円
支出	7億7,258万円
差引	▲2億6,790万円

病院事業

収益的収支	
収入	15億3,000万円
支出	15億6,914万円
差引	▲3,914万円
資本的収支	
収入	4,923万円
支出	7,583万円
差引	▲2,660万円

ダム対策

歳入合計	1億4,830万円
国庫支出金	742万円
繰入金	651万円
繰越金	68万円
市債	1億3,330万円
分担金及び負担金	39万円
歳出合計	1億4,830万円
ダム対策費	1億4,815万円
公債費	15万円
差引(翌年度へ繰越)	0万円

介護保険

歳入合計	43億1,189万円
保険料	5億4,917万円
国庫支出金	11億7,783万円
支払基金交付金	13億723万円
県支出金	5億1,887万円
繰入金	6億199万円
繰越金	1億5,626万円
諸収入	54万円
歳出合計	42億530万円
総務費	1億35万円
保険給付費	40億4,710万円
基金積立金	4,403万円
公債費	210万円
諸支出金	1,172万円
差引(翌年度へ繰越)	1億659万円

企業会計

企業会計は、水道事業(庄原、東城地区)、病院事業(西城市民病院)の2つの会計があり、独立採算を原則として運営しています。

《水道事業》

【収益的収支】

水道料金で人件費、電気代、薬品費などをまかなう維持管理的なものの収益的収支では、3,039万円の黒字決算となっています。

【資本的収支】

企業債や負担金などで建

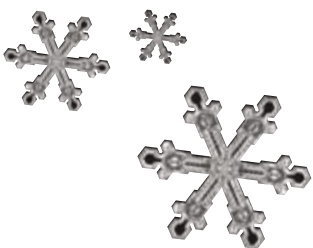
《病院事業》

【収益的収支】

収益的収支では、診療収入で維持管理などの経常費用(人件費、薬品費、経費など)をまかなうもので、本年度は3,914万円の純損失(赤字決算)となります。

【資本的収支】

企業債や負担金などで建設改良費をまかなう資本的



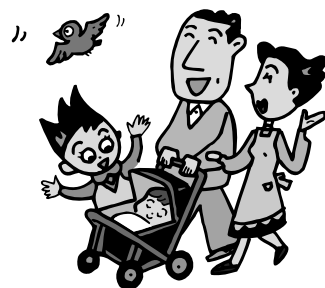
収支では、X線一般撮影装置、上部消化管用汎用スコープなどの医療機器整備や院内の冷却塔の取り替えなどの施設整備をしました。収支で2,660万円の不足を生じましたが、これを収益的収入の特別利益1,162万円、内部留保資金1,487万円および消費税資本的収支調整額11万円をもって補っています。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入を特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して整理する必要があるときに、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。庄原市には、国民健康保険、老人保健、介護保険、公共下水道事業、簡易水道事業などの14の特別会計があります。

《歳入・歳出》

14の特別会計の決算額は、歳入総額が200億5,023万円、歳出総額が197億8,006万円となっています。



老人保健

歳入合計	74億2,578万円
支払基金交付金	42億5,104万円
国庫支出金	20億6,091万円
県支出金	5億2,213万円
繰入金	5億2,340万円
繰越金	6,006万円
諸収入	825万円
歳出合計	73億9,575万円
医療諸費	73億9,575万円
差引(翌年度へ繰越)	3,003万円

農業集落排水事業

歳入合計	16億1,816万円
分担金及び負担金	4,617万円
使用料及び手数料	2,884万円
国庫支出金	274万円
県支出金	7億4,015万円
繰入金	2億8,500万円
繰越金	754万円
諸収入	2,102万円
市債	4億8,670万円
歳出合計	16億838万円
総務費	1,795万円
農業集落排水事業費	14億7,456万円
公債費	1億1,587万円
差引(翌年度へ繰越)	979万円

公共下水道事業

歳入合計	15億9,268万円
分担金及び負担金	1億1,429万円
使用料及び手数料	2億458万円
国庫支出金	4億1,083万円
県支出金	1,275万円
繰入金	5億1,700万円
繰越金	2,438万円
諸収入	495万円
市債	3億390万円
歳出合計	15億8,704万円
総務費	8,020万円
公共下水道事業費	11億193万円
公債費	4億491万円
差引(翌年度へ繰越)	564万円

簡易水道事業

歳入合計	3億4,596万円
分担金及び負担金	294万円
使用料及び手数料	1億3,351万円
繰入金	1億7,500万円
繰越金	1,249万円
諸収入	352万円
市債	1,850万円
歳出合計	3億3,514万円
総務費	1億831万円
簡易水道事業債	4,079万円
公債費	1億8,604万円
差引(翌年度へ繰越)	1,082万円

国民健康保険

歳入合計	42億7,919万円
国民健康保険税	10億4,720万円
使用料及び手数料	1万円
国庫支出金	12億5,125万円
療養給付費等交付金	11億9,636万円
県支出金	1億2,401万円
共同事業交付金	6,336万円
繰入金	2億9,145万円
繰越金	3億260万円
諸収入	295万円
歳出合計	41億8,539万円
総務費	9,500万円
保険給付費	28億4,079万円
老人保健拠出金	8億3,588万円
介護納付金	1億9,291万円
共同事業拠出金	5,796万円
保健事業費	4,375万円
基金積立金	8,506万円
諸支出金	3,404万円
差引(翌年度へ繰越)	9,380万円

